

にじだより

第3号 平成30年9月

とても暑かった夏が過ぎ去り、心地よい風が吹く季節となりました。
今年は地震や台風・大雨など災害に悩まされることが例年以上に多かったように思います。
被災された方や関係者皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、「にじ」では、この暑い季節も利用者の皆様と訓練を継続し社会復帰を目指してきました。
今後も障害を持たれた多くの方に「にじ」を活用して頂き、ご本人が望む生活を
手に入れるお手伝いをしていきたいと考えております。
来たる10月28日に当センターでお祭りをを行います。

「にじ」では利用相談や施設見学会を開催しますのでよろしければご来場ください。
また、相談や見学は随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。
お待ちしております。

障害者支援施設<にじ>
次長 田金裕昭

～訓練紹介～

『作業』について

皆さんは『作業』と聞くとどんなイメージを持つでしょうか。
“にじ”では病気、怪我により障害を負った方に対して
様々な「作業」を通して訓練を行っています。
今回はその中の革工芸や手芸、農園芸の訓練をご紹介します。

革工芸では財布やキーケース、手芸では刺繍でクッションをリング編みでマフラーなどの作品作り、
農園芸では観葉植物の手入れ、花・野菜作りなどの作業を行っています。
これらの作業がなぜ訓練になるのかと疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。

作業の大きな目標は作品を完成させること、そこで得られる達成感ですが、その過程で身体機能、認知機能
の向上が期待できます。例えば身体面では握力の向上や左手（非利き手）で細かい作業ができるよう
になったり、長時間立ち仕事ができるようになったり、認知面では集中力の向上（注意力）や手順の
理解・習得などがあげられます。

このように、作業にはリハビリ訓練となる色んな側面があります。皆さんが趣味で行っている作業も、
実は脳や身体の良い訓練になっているかもしれません。今回紹介させて頂いた作業活動など、
これを機に新たに始めてみてはいかがでしょうか？



楽しく農園芸やっています



家族に財布を作っています



革工芸・手芸での作品

～管理栄養士の役割～



管理栄養士の業務には「栄養管理業務」と「給食管理業務」があります。

「栄養管理業務」は、栄養ケア・マネジメントをはじめ、併存疾患のある利用者さんの栄養管理を看護師や担当支援員など他職種協同で行います。

また、利用者さん個々の栄養状態に応じた食事を提供することで、社会復帰に向けての健康管理やリハビリの成果の向上につながるよう心がけています。



「管理栄養士の佐藤です」

また定期的に、糖尿病予防教室を開催し、理学療法士の運動療法などを交え、疾病に対する意識付けを行っています。調理訓練・料理教室では作業療法士と共に社会復帰の準備のため、献立作成、買い物、調理、片付けと一連の流れを練習します。管理栄養士の立場から、献立作成時から栄養面の助言を行い、食材の購入にも立ち会う事で、より実践的な栄養管理につなげる役割が担えるのではないかと考えます。

「給食管理業務」では、入所期間が長期にわたるため、行事食、イベント食をとり入れながら、季節感のある食事を心がけています。また、選択食を実施する等、利用者さんに満足していただけるよう厨房スタッフと共においしい食事作りに努めています。

このように管理栄養士は、利用者さんを取り巻く他職種の職員・ご家族と連携を取りながら栄養管理を通して社会復帰への一助を担っています。



糖尿病教室の様子



お月見弁当はみなさんに好評です



出来上がり！



調理訓練の様子。左手で調理を行いました、とても美味しくできました



これまでの私 これからの私 ～にじを卒業された方のご紹介～

今から3年半前、山林斜面で仕事をしている最中、落石がUさんの頭部に当たり頸髄損傷となりました。病院で目を覚ますと、首からは全く動きませんでした。「生きるだけなら経管栄養でもいいかもしれないが、口から食べられるようになりたい」と懸命にリハビリに励みました。少しずつ体が動くようになりましたが、手足の制限が残り、頭が洗えない、服が着れないなど日常生活に介助が必要な状態でした。病院のリハビリ期間が終わる頃、「リハビリをすれば治ると思っていたけど、以前のような体に戻るのには難しいと理解した」そうです。



このままではダメだと「にじ」への入所を決意

その後、「自立訓練」に1年半取り組み、入浴、更衣動作など身の回りのことが全て自立しました。さらに社会復帰に向け「就労移行支援」では、パソコン・事務作業・実習・自動車訓練を行いました。当初、体力的にきつかったのですが「全身のきつさやしびれなど体調が悪いのは当たり前。それをベースに体調管理をすることにした」そうです。そんな時、地元の役場の求人情報を知りました。今まで事務的な仕事をしたことのないUさんでしたが、同じ障害を持つ他利用者（人事の仕事をしていました）の協力を得て夜遅くまで試験対策の日々が続きました。

そして見事合格。今は職場近くのアパートで生活し、自家用車で通勤しながら総務課の仕事をしています。職場環境にも恵まれ「勤められてよかったと思うことばかり」と語る表情は充実感でいっぱいです。地元の店舗で買い物をするように心がけているそうで地元愛にも溢れています。これから地域のためにご活躍されることを心よりお祈りしています。



自家用車で通勤



笑顔で話してくれました

